



校訓
協根自
同性主

### ☆令和6年度学校教育目標

「友情と信頼で結ばれ、夢実現に向け、佐中プライドを持って、粘り強く考動できる生徒の育成」

### ☆令和6年度生徒会目標

「躍動」 個性を認め合える、居心地の良い佐中へ

## 二学期スタート

夏休み中、生徒は大きな事故もなく、安全に過ごすことができ、保護者のみなさまには感謝申し上げます。台風10号の影響で、9月2日（月）に始業式を行いました。各学年代表の「千年さん」「福田さん」「新村さん」、生徒会代表の「竹下さん」が、二学期の努力点として、「学習」「駅伝練習」「提出期限遵守」「生徒会選挙」「リーダーシップ」等を挙げ、成長できるようがんばっていくことを発表しました。

校長からは、「私のやる気スイッチ」としての「習慣化」の大切さについて話をしました。やるべきことを「自覚」することから始まり、とりあえず「行動」し、繰り返し「継続」する実践をとおして、「気付けばやっていた、無意識に取り組んでいた」となるところまで達すると「習慣化」できると伝えました。「生活リズム」を整え、「自己コントロール」できる人になってほしいと願っています。

生徒一人一人にとって、充実した時間を重ねることで、「成長を実感」できる二学期にすることができるよう、全職員で支えて参ります。本学期もご理解・ご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

### <夏休み中の活躍>

#### ○中体連県大会（7/20～21）

- ・新体操：団体優勝  
個人優勝 木下さん
- ・空手道：女子団体準優勝  
新村さん・米良さん
- ・陸上：2年1500m優勝  
新村さん

#### ○中体連九州大会（8/5～10）

- ・新体操：団体3位  
個人優勝 木下さん
- ・空手道：女子団体出場  
新村さん・米良さん
- ・陸上：2年1500m出場 7位  
新村さん

◎8/18（日）早朝からのPTA美化作業では、ご協力ありがとうございました。除草等を行っていただき、すっきりしました。安全に教育活動を進めることができ感謝です。

◇「第46回「少年の主張」熊本県大会（主催：熊本県・熊本県教育委員会・熊本県青少年育成県民会議）」が延期され、熊本県庁で実施予定です（近日中）。芦北・水俣代表として、本校3年 一川さんが出場します。夏休み中から練習を重ね、始業式では発表リハーサルを行いました。がんばって！

☆10/5（土）午前8時頃から、地震発生を想定した「熊本シェイクアウト訓練」を県主催で実施されます。①まず低く、②頭を守り、③動かない。参加してみましよう！

芦北町立佐敷中学校 三年 梶原 さん

今年の夏はオリンピックが開催され、私も様々な国の選手たちがスポーツで競い合う姿に感動する毎日でした。このオリンピックは「平和の祭典」とも呼ばれています。「平和」とは、「戦いや争いがなく、穏やかでかわりのないこと」を意味します。

さて、「穏やかでかわりのないこと」とは、どのようなことなのでしょう。人それぞれ思い浮かべるものは違うと思います。私は、「穏やかでかわりのないこと」と聞けば、毎日の学校や家庭での生活のことを思い浮かべます。

しかし、そこには、楽しかったことや嬉しかったことだけではなく、不思議と辛かったことや悲しかったことまでも思い浮かんでくるのです。つまり、私にとっての「穏やかでかわりのないこと」とは、家族と笑い合う毎日や友達と喜び合う瞬間だけでなく、苦しくて泣いた経験や思い悩む時間、それらすべてであるということです。

毎日、当たり前のように過ぎていく日々ですが、その「当たり前」こそが私にとって唯一無二の穏やかでかわりのない、「平和」だと思います。

数年前から、争い合う国のニュースが私の耳にも入るようになりました。そういった国の中学生たちの悩みや苦しみとは、どんなものなのだろうかと考えます。家族や自分の命を失う不安や、将来を思い描くこともできない苦しみを抱えて、日々を暮らしているのではないかと思うと、自分が今抱くものとの違いに愕然とします。今、私が抱えている悩みや苦しみは、やはり「平和」という土台があるからこそ感じられるものだと思うからです。

令和二年七月豪雨災害を受け、私は日常が当たり前そこに存在することの大切さに気付くことができました。まして、終わりの見えない戦争・紛争の最中には、その「日常」すら願っても叶わないほど遠いものを感じられるでしょう。

学校や塾、部活動を終えて家に帰ると温かい食事が用意されていること。清潔に洗濯されアイロンがかけられた衣服に着替えること。暖かい布団で安心して眠れること。そんな一つ一つがこれからもずっと「当たり前の日常」であってほしいと思います。

今から約八十年前、この毎日は「当たり前」ではありませんでした。戦争でたくさんの方が犠牲とされました。今後も当時のことを学び続けるとともに、今、私たちが平和の中に暮らしていただけることの有り難さを忘れず、現在、そして次の世代、またその次の世代へとこの平和な日常を守っていく思いをつないでいきます。

○ 梶原さんは、素直な思いを表現することができました。本人は、当日、参加された方々からも感想をいただく場面があり、思いが伝わったと報告してくれました。

芦北町から当日の動画をいただき、現在、本校玄関にて放映中です。

○ 次号には、第46回「少年の主張」熊本県大会で発表する、一川さんの原稿を掲載します。こちらもお楽しみに！

○ 10/23（水）の文化祭では、芦北町国際交流協会主催の「カンボジア派遣」「イギリス派遣」の報告も含めて、生徒たちの様子を何かしらの形でお伝えする予定です。ぜひ来校ください。